

元気で輝く高齢期を迎えるための意識調査 シニア層の活用に関する企業調査 結果がまとまりました。

－調査結果は、今後の施策を進める上での基礎資料として活用していきます－

横浜市では、高齢者が地域や職場でいきいきと活躍できるよう取組を推進しています。

そこで、市民のみなさまの意識や企業のお考えをお聞きし、今後の施策を進める上での基礎資料とするため、アンケート調査を実施しました。このたび、結果がまとまりましたので、お知らせします。

■調査の概要■

調査期間：平成 27 年 10 月 1 日～10 月 21 日

調査方法：郵送配布・郵送回収

(1)元気で輝く高齢期を迎えるための意識調査

調査対象：横浜市内に居住する 55 歳から 65 歳の方 3,000 人（住民基本台帳より無作為抽出）

調査項目：現在の働き方、今後希望する働き方、地域活動・ボランティアについて 等

回収結果：1,449 票（回収率 48.3%）

(2)シニア層の活用に関する企業調査

調査対象：横浜市内企業 1,000 社（本市保有企業情報より無作為抽出）

調査項目：高齢者雇用の状況と今後の動向、高齢者雇用に期待することや課題 等

回収結果：397 票（回収率 39.7%）

■調査結果の概要■

※マークの見方… ○：元気で輝く高齢期を迎えるための意識調査
◇：シニア層の活用に関する企業調査

- 高齢者は何歳以上だと思うかという設問については、全体の約 7 割が「70 歳以上」と回答しました。
- 男女ともに約 9 割に働く意向（ボランティア含む）があり、就労意向は高いことがわかりました。
- 働きたいと考える理由は「生活費を得たいから」「自由に使えるお金がほしいから」に続き、「健康に良いから」「生きがいを得られるから」がほぼ同程度の回答でした。
- ◇ 高齢者の雇用を拡大していきたいという意向のある企業は全体の約 7 割となっていますが、そのうち、拡大意向はあるものの課題があり難しいと回答した企業が約 3 割ありました。
- ◇企業が高齢者に提供できる仕事内容は「経理、調査・集計、パソコン等の入力事務」が最も多く、高齢者の希望に合う結果となりました。一方、「清掃、袋詰めなどの作業」は企業では 2 番目の回答でしたが、高齢者の希望では 7 番目と低くなっています。
- ◇ 企業が高齢者を雇用するために必要な支援は、「賃金の助成」に続いて、「人材の紹介など高齢者とのマッチングの場の提供」や「雇用に関するノウハウの提供」となっています。

※ 調査結果は、下記ホームページからご覧いただけます。

（掲載 URL <http://www.city.yokohama.lg.jp/seisaku/seisaku/senior27/koukai.html>）

お問合せ先

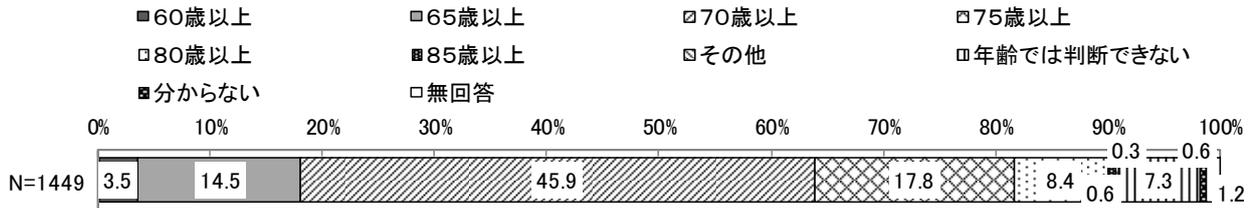
政策局政策課 担当課長 松寄 尚紀 Tel 045-671-3203

【元気で輝く高齢期を迎えるための意識調査（個人調査）】 <抜粋>

調査対象：横浜市内に居住する 55 歳から 65 歳の方 3,000 人

回収結果：1,449 票（回収率 48.3%）

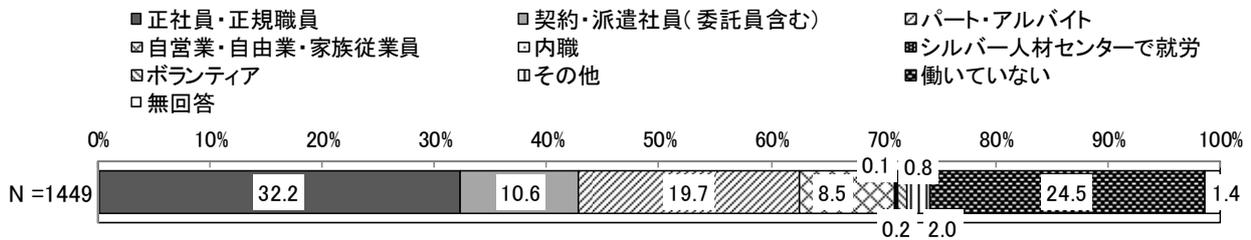
問. あなたは、高齢者とは何歳以上だと思いますか。（1つに○）



集計結果から

- ・ 「70 歳以上」、「75 歳以上」、「80 歳以上」、「85 歳以上」と回答した人の合計が約 7 割となっています。
- ・ 女性 65 歳では、「年齢では判断できない」という回答が 36%と多くなっています。（クロス集計）

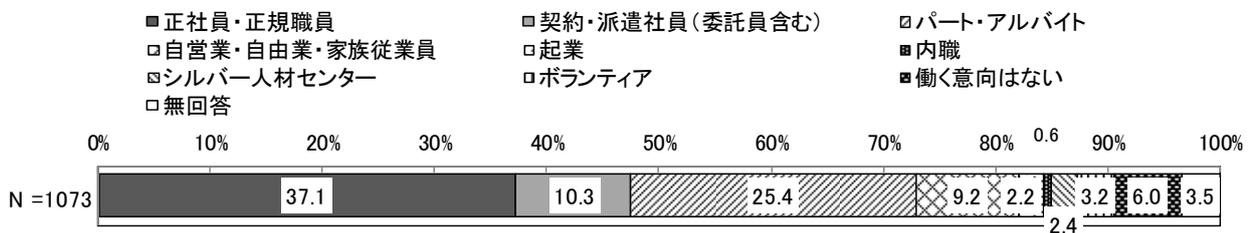
問. 現在の働き方についてご回答ください。（1つに○）



- ・ 全体の約 7 割の方が、現在、働いており（ボランティア含む）、正社員・正規職員が約 3 割、次いでパート・アルバイトが約 2 割と続いています。
- ・ 60 歳以上の女性は「働いていない」という回答が 4 割以上と多くなっています。（クロス集計）

問. 「現在、働いている」とお答え頂いた方にお聞きします。

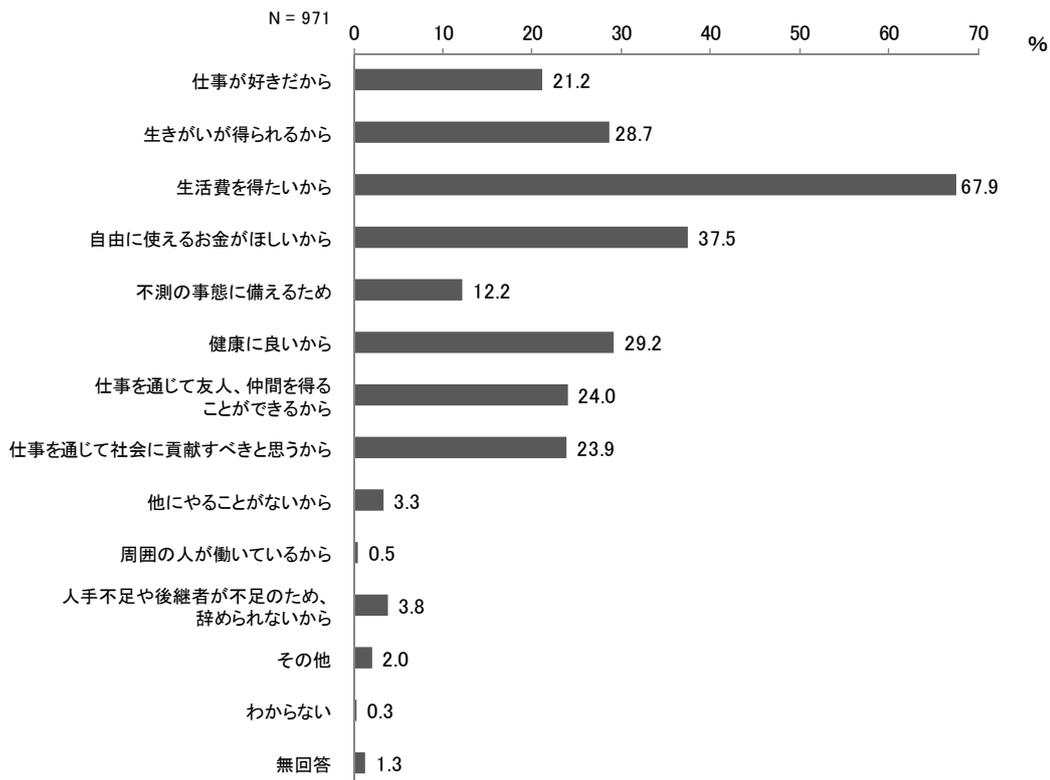
今後希望する働き方があればご回答ください。（1つに○）



- ・ 約 9 割の方が働く意向（ボランティア含む）があり、就労意向は高いことがわかりました。
- ・ 男性の約 5 割が正社員・正規職員を希望しているのに対して、女性は約 4 割がパート・アルバイトを希望しています。（クロス集計）

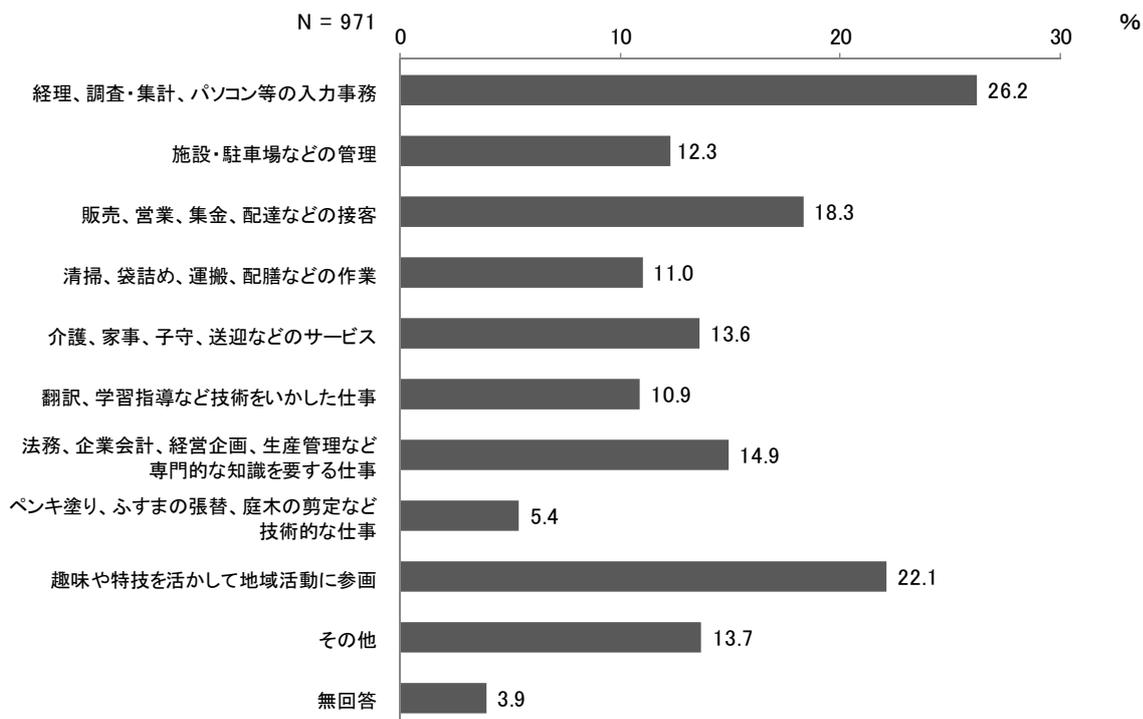
問. 「今後も仕事をしたい」とお答え頂いた方にお聞きします。

今後も仕事をしたいと考える理由をご回答ください。(最大3つに〇)



- ・ 「生活費を得たいから」、「自由に使えるお金がほしいから」に続き、「健康に良いから」「生きがいを得られるから」がほぼ同程度の回答でした。
- ・ 男女ともに65歳では、「健康に良いから」という理由が多くなっています。(クロス集計)

問. 今後希望する仕事内容についてご回答ください。(あてはまるもの全てに〇)



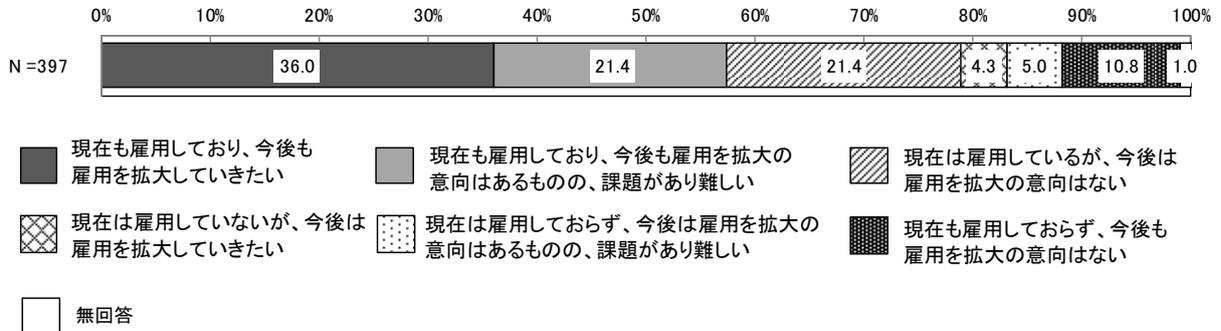
- ・ 「経理、調査・集計、パソコン等の入力事務」が最も多く、「趣味や特技を活かして地域活動に参画」が2番目となっています。

【シニア層の活用に関する企業調査】 <抜粋>

調査対象：横浜市内企業 1,000 社

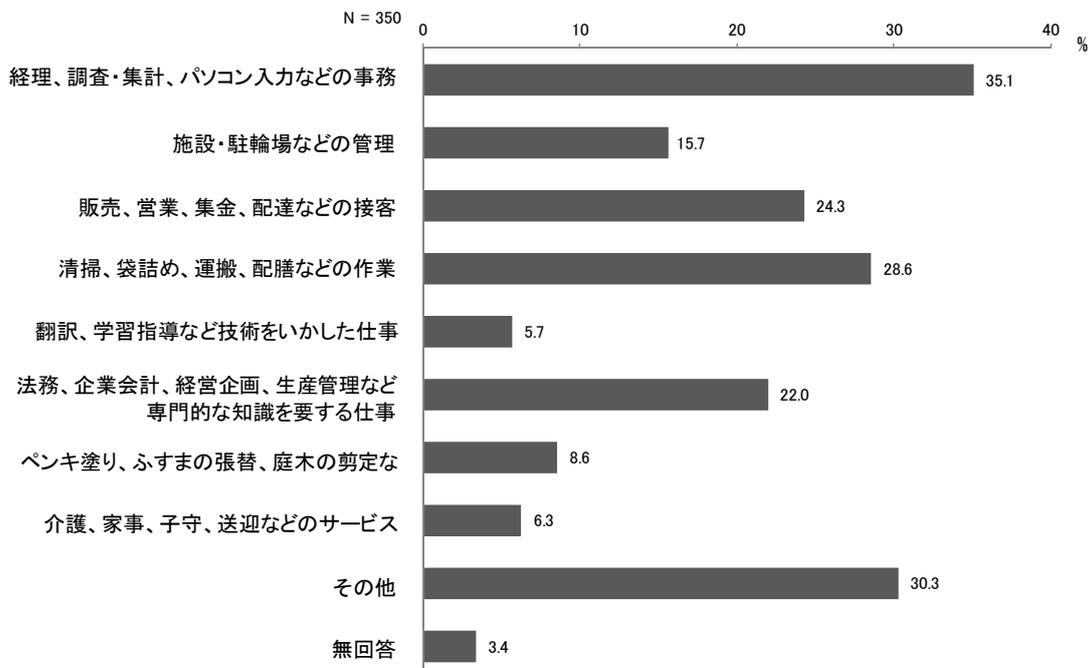
回収結果：397 票（回収率 39.7%）

問. 高齢者（定年年齢以上）の雇用（派遣、請負等含む）について、現在の状況と今後の動向についてご回答ください。（1つに○）



- ・ 高齢者の雇用を拡大していきたいという意向のある企業は全体の約7割となっていますが、そのうち、拡大意向はあるものの課題があり難しいと回答した企業が約3割ありました。
- ・ 従業員人数が300人以上の企業では、高齢者の雇用を拡大していきたいという意向が5割以上となっています。（クロス集計）

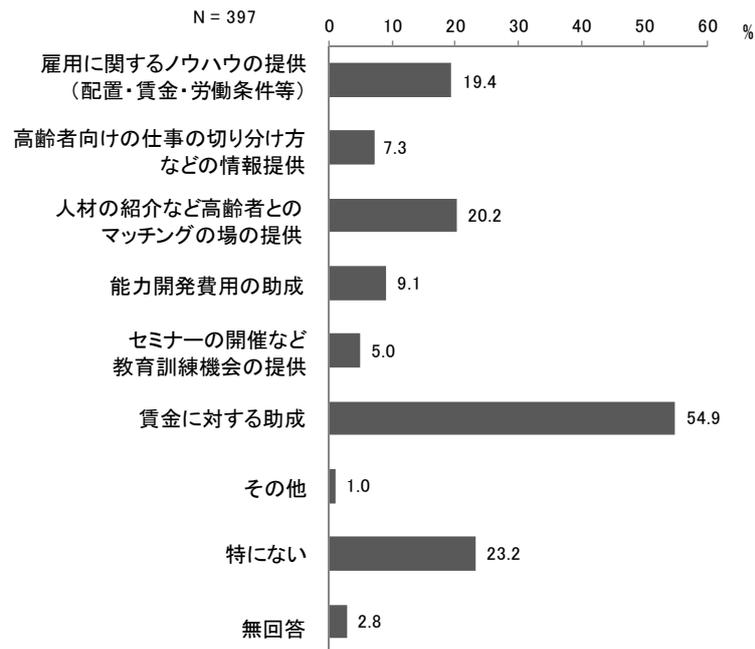
問. 「現在、高齢者を雇用している」又は「今後拡大する意向がある」とお答え頂いた方にお聞きます。高齢者を雇用（派遣、請負等含む）する場合に、提供できる仕事内容についてご回答ください。（あてはまるもの全てに○）



- ・ 「経理、調査・集計、パソコン等の入力事務」が最も多く、高齢者の希望に合う結果となりました。
- ・ 一方、「清掃、袋詰めなどの作業」は企業では2番目の回答でしたが、高齢者の希望では7番目と低くなっています。

問. 高齢者を雇用（派遣、請負等含む）するために必要な公的援助についてご回答ください。

（あてはまるもの全てに○）



- ・ 「賃金の助成」に続いて、「人材の紹介など高齢者とのマッチングの場の提供」や「雇用に関するノウハウの提供」となっています。
- ・ 特に、「現在は高齢者を雇用していないが、今後、雇用を拡大していきたい」という企業では、「賃金に対する助成」に続いて、「人材の紹介など高齢者とのマッチングの場の提供」、「雇用に関するノウハウの提供」の回答が多く見られました。(クロス集計)